



JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP

Model **535**

取扱説明書

TAIYO
INTERNATIONAL, INC.

目次

はじめに.....	3
ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）	4
パッケージの中身	6
パッケージの開梱	6
メンテナンス、お手入れについて	6
ご使用方法	7
本機の特徴	8
フロントパネル	10
リアパネル	10
アフターサービスについて	12
仕様.....	13
問い合わせ先	13

はじめに

Jeff Rowland Design Group の "家族"になられたこと、そして、間違いなく世界で最も優れたアンプの一つをご購入いただきましたこと、ありがとうございます。 Model 535 の機能は、精密電子回路、高効率、精密機械加工されたシャーシーコンポーネントなどが相互作用して、音楽を心ゆくまで味わえるアンプです。

アンプを設置する前に、この取扱説明書をお読みください。操作上の特徴を十分にご理解なさることで、本機の最大のパフォーマンスと引き出すことができます。

Model 535 のシリアル番号は「SM」で始まります。この番号には、モデル 535 に関するお問い合わせなど、シリアル番号が大きな役割を担います。音楽を存分に味わい、理想とする芸術的表現を達成し、永続的な価値のオーディオコンポーネントを制作することが私の目的でした。このアンプによる音楽演奏が、音楽の深みとその喜びを心ゆくまで楽しむことができますよう、願っております。

音楽を楽しみましょう！



ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめ下さい。

以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにして下さい。



警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

〔設置上のご注意〕

警告

- 定格電圧 A C 100Vにてご使用下さい。
- 付属のAC電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
- ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
- A C 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
- A C 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
- 本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
- 水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
- 本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐに A C 電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

注意

- 本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
- 本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
- 湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
- ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
- 室内温度が 5℃～40℃の範囲でご使用下さい。
- 振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
- オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかりと取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。

スピーカーケーブルの接続は、AC 電源ケーブルを本体から抜いていることを確認してから行って下さい。AC 電源ケーブルを接続したままスピーカーケーブルの「+」、「-」、シャーシグランド間をショートさせると故障の原因となります。

〔お手入れについて〕

本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずAC電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

パッケージの中身

モデル535のパッケージには下記のものが含まれています。

- ・モデル535ステレオ パワーアンプ（本体）
- ・AC電源ケーブル
- ・3Pアダプター
- ・保証登録書
- ・取扱説明書

注意：付属のAC電源ケーブルは、モデル535専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。

パッケージの開梱

モデル535は重量があります。本機の取り出し、及び設置の際には細心の注意で慎重に行ってください。落下等で怪我や物損を招く原因となります。開梱は柔らかい表面のカーペット等を敷いた上で行ってください。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※本製品は米国ジェフ・ロウランド・デザイン・グループ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときはすぐお買い求めの販売店までご連絡下さい。

メンテナンス、お手入れについて

ジェフ・ロウランド・デザイン・グループの製品は、長年に渡りその音楽的性能をお楽しみいただけるように設計いたしました。内部に埃が入らないようにシャーシーは密封構造となっており、シャーシー内部をクリーニングする必要はありません。内部の回路は調整やメンテナンスの必要がないように、自動調整できるようになっています。修理等の際には、お買い求めの販売店か当社サービス課までお知らせ下さい。

モデル535のシャーシーは継ぎ目のない一体構造としてハード・アルミニウムによるくり抜き加工という、コストを無視した革新的な構造になっています。シャーシーはダイヤモンド・カッティングツールで削り出されています。このユニークな工程は、美しく魅力的な製品をお届けするために、長年の研究、試行によって完成されたものです。

表面は通常のオーディオやビデオの表面とは異なっていますので、お手入れの際は以下の点にご注意下さい。

- ・ 最初の6ヶ月間はフロントパネルのクリーニングは行わないで下さい。この間に表面のコーティングが定着し、表面の傷を防ぎます。
- ・ トップパネル、サイドパネルは、水で湿らせた柔らかい綿布で拭きます。シャーシーに跡が残った場合、研磨剤や化学物質によるクリーナーは使わないで下さい。クリーナーが必要な場合は、アンモニアを含まないプラスチック・クリーナーまたはガラス・クリーナーをご使用ください。

- ・ フロントパネルのお手入れには、水またはオイルベースの家具用クリーナーを使用します。必ず柔らかい綿の布につけてから拭いてください。フロントパネルは非常に繊細な仕上がりですので、他のもので拭いた場合、目立つ傷がつく可能性があります。

モデル535のクリーニングに関する質問は、お買い求めの販売店か当社サービス課までお問い合わせ下さい。推奨しないクリーナー等を使うとシャーシーを損傷する恐れがあります。

ご使用方法

アンプの設置場所は、できるだけリアパネルの操作が可能な場所に置いてください。

モデル535は、ファンや強制的なエア・フローを必要としない発熱の少ない、非常に効率的なアンプです。アンプを安定に動作させるため、ラック等に収納する際には上方に隙間を空けて設置して下さい。

モデル 535 には、過剰な AC 電流の流れから保護するための内部ヒューズと外部ヒューズが装備されています。とはいえ、システムの保護回路は、あらゆる電氣的な障害から機器を完全に保護することができないため、場合によってはそれを前もって予防する必要があります。落雷など、電圧に関する重大な危険がある場合、または、長時間本機を使用しない場合には、内部回路への損傷を避けるため、AC 電源からアンプを抜いてください。危険な電圧は接続されたシステム全体を容易に光速で移動できるため、他のすべてのオーディオビデオシステムコンポーネントも AC 電源から切り離す必要があります。

加えて以下の点にも気を配ってください。

- ・ 定格電圧AC100Vにてご使用下さい。
- ・ 湿度の多い場所では使用しないで下さい。
- ・ ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になりかねません。
- ・ AC電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
- ・ AC電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
- ・ 本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。(改造されたものは、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください)
- ・ 水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
- ・ 本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
- ・ 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにAC電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことをご確認の上、お買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのままの状態でご使用になると、火災・感電の原因になります。
- ・ モデル535を使用の際は、正しくグラウンドされたAC電源のご使用を推奨いたします。3ワイヤのグラウンドされたACケーブルターミナルが正しくセットされていなかったり、誤って2ワイヤのグラウンドされていないACコードが使用されている場合、故障の原因になりかねません。

- ・雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するためアンプのAC電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様にAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。また長期間使用しないときにもAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
- ・スピーカーケーブルの接続は、AC電源ケーブルを本体から抜いていることを確認してから行って下さい。AC電源ケーブルを接続したままスピーカーケーブルの「+」、「-」、シャーシグランド間をショートさせると故障の原因となります。

本機の特徴

切削加工アルミニウムシャーシ：航空機グレード 6061-T6 ハードアルミニウムブロックからの削り出しシャーシにより、嚴重にRFI/EMI(電磁波、ラジオ波障害)をシャットアウト、熱分散と共振を抑制し、音楽再生には不要なノイズを大きく低減。

・セラミック製入力基板：高精度のアンプ機器入力には、エネルギーを蓄積せず、高絶縁性で定評のあるミリタリースペック・ロジャース製高硬度セラミック回路基板を使用。回路に残るエネルギーは大幅に低減し、スピード感のあるトランジェントを再現。音自体をくっきりと再現し、さまざまな音と音像とが集まって完成するサウンドステージの構築に貢献。

- ・ バランス回路：完全バランス回路構成によって、歪み・ノイズが従来よりさらに低下。
- ・ 高精度表面実装用部品を採用：温度変化による影響が非常に少ない表面実装部品を広範囲に採用、ループエリアを縮小させ、回路のキャパシタンスとインダクタンスを低減。スピードのある反応と耐久性の向上に寄与。
- ・ 薄膜抵抗器：すべての抵抗器はローノイズタイプ、0.1%薄膜フィルム抵抗器により、動作回路のノイズを大きく低減させた。
- ・ テフロンコーティングの配線：入出力信号ケーブルは導体に銀線を採用し、テフロンでコーティング。絶縁体としてエネルギー蓄積を低減させ、信号の自然な減衰とより深い静寂を可能に。音楽は生き生きと現れる。
- ・ トランスの採用：自社設計の入力トランスにはカルダス社製 6N 銅線を使用することにより、多くのコンポーネントとベストマッチ。実質的にグランドループとRFI(高調波妨害)/EMI(電磁妨害)を排除。また、バランス/シングルエンド変換アダプター使用時にもゲインを一定に保つメリットもある。音楽信号はストレス無く 200kHz までアンプ内を電送される。
- ・ アクティブ PFC(パワーファクターコレクション)：パワーサプライの PFC は AC 電源のハーモニックノイズによる汚染を低減させ、AC 電源を 97%の効率で利用する未来志向。
- ・ 高効率スイッチモードパワーサプライ：高効率でコンパクトなスイッチモードパワーサプライは、すべての回路への最適電圧供給を行い、さまざまな電源環境において静寂な動作を行う。AC 電源の使用状況に影響されずに最大限のパフォーマンスをもたらした。

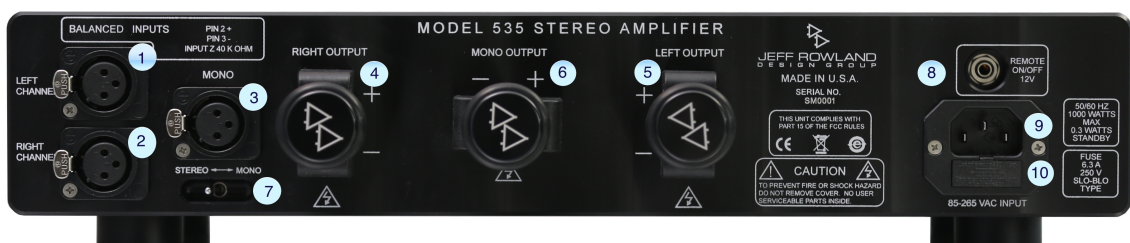
- ・ 出力端子：厳重な CE 基準(欧州連合加盟国安全基準)に適合した、簡単に締め付けられる出力端子を使用。
- ・ フロントパネルスタンドバイボタン：点灯するフロントパネルのプッシュボタンスイッチはアンプをスタンドバイモードにし、そのときの消費電力は 0.3W 以下になります。
- ・ ブリッジ接続可能：スイッチ一つでブリッジモードに変換され、強力モノラルアンプに変身。ゲインはステレオアンプの場合と変わらず、マルチアンプとしても使い易く設計。モノラル出力端子を装備しているため、スピーカーワイヤーの接続が簡潔に迷わず行えます。

フロントパネル



- 1.フロントパネルの電源ボタン： このボタンを押すとアンプは作動状態に入ります。 もう一度押すと、アンプがスタンバイモードになります。
- 2.電源インジケータリング。:このリングは、アンプが動作しているときに白く点灯します。アンプがスタンバイモードのときは、リングが点灯しません。

リアパネル



1. INPUT : 左チャンネル バランス XLR : RCA(アンバランス)接続をする場合には、XLA-RCA 入力アダプター (付属していません) を使用して、RCA インターコネクトケーブルに接続します。

2. INPUT : 右チャンネルバランス XLR。 RCA(アンバランス)接続をする場合には、XLA-RCA 入力アダプター-XLR から RCA 入力アダプター (付属していません) を使用して RCA インターコネクトケーブルに接続します。
3. INPUT : ブリッジモノラル XLR。 RCA(アンバランス)接続をする場合には、XLA-RCA 入力アダプター-XLR から RCA 入力アダプター (付属していません) を使用して RCA インターコネクトケーブルに接続します。
4. 右チャンネル出力スピーカー接続端子 : ステレオアンプとして使用する場合に、インピーダンスが 2~16Ω の右スピーカーに接続します。
5. 左チャンネル出力スピーカー接続端子 : ステレオアンプとして使用する場合に、インピーダンスが 2~16Ω の左スピーカーに接続します。
6. モノラル使用時のスピーカー接続端子 (モノスピーカーモノ出力) : モノラルオペレーションの時に、インピーダンスが 4~16Ω のスピーカーに接続します。
7. ステレオ / ブリッジ モノラル切換スイッチ : モデル 535 をステレオまたはモノラルアンプとして設定します。モノラルアンプとして構成すると、アンプのゲインが自動的に調整され、ステレオ動作時と同じゲインを維持します。
8. リモート ON / OFF : モデル 535 のリアパネルに 1/8 インチ (3.5mm) のミニプラグジャックがあり、アンプを動作モードとスタンバイモードとの切り替えができます。コネクタに 6~15V の連続 DC 電圧を加えると、フロントパネルの電源ボタンが無効になり、アンプが動作モードになります。モデル 535 の動作モードは、リモートのオン/オフコネクタを介して、適切な回路を備えた別のオーディオコンポーネントによって制御することもできます。
9. AC 主電源入力コネクタ : 100V AC を AC 電源入力コネクタに供給して、AC 電源ケーブルを取り付けます。
10. ヒューズホルダ : 6.3A の 250V スローブローまたは遅延型ヒューズ (MDL) が付属しています。 同じような定格で交換し、ヒューズを入力してください。

アフターサービスについて

・同封の保証登録書に必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はご購入より 1 年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなご異常のある場合には、ご購入求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

仕様

出力	250 w @ 8 Ω /500 w @ 4 Ω, 100V 700 w @ 8 Ω, Mono, 100V
Frequency Response	5 Hz – 70 kHz, -3 dB
混変調 歪	(CCIF, 18 kHz + 19 kHz) 0.0015%, @10 w
入力インピーダンス	40k Ω
高調波歪	< 0.05%, 20 Hz -20 kHz, 0.003% @ 1 w, 1 kHz
ダンピング ファクター	> 1000 @ 1 kHz
ゲイン	26/26 dB ステレオ、モノーラル時共通
アンプ効率	89% @ 250 w
入力端子	1 ペア (XLR) ステレオ, 1 (XLR) モノーラル (pin 2 +)
出力端子	1 ペア バインディングポスト (ステレオ用), 1、バインディングポスト (モノーラル時用)
消費電力 (アイドル時)	9 w
消費電力 (スタンバイ時)	0.3 w
重量	9.97kg
外寸	381mm x 72mm x 279mm (W x H x D)

問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル
〒103-0027
東京都中央区日本橋2-12-9 日本橋グレイス1F
TEL: 03-6225-2777 (代表)
03-6225-2779 (サービス課)
FAX: 03-6225-2778
ホームページ: <http://www.taiyoinc.jp>